

JILPT 調査シリーズ

No.11

2005年10月

# 職務・職責基準の賃金データに関する研究 ～役割に基づく賃金調査結果報告～

The Japan Institute  
for  
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



**職務・職責基準の賃金データに関する研究**  
**～役割に基づく賃金調査結果報告～**

独立行政法人 **労働政策研究・研修機構**

The Japan Institute for Labour Policy and Training

## まえがき

近年、わが国企業の人事管理制度が成果主義へと変化する中で、給与決定における属人的な要素を縮小させ、責任の範囲や職務の重要度、困難度等に応じた職務価値に基づく、いわゆる「職務・職責給」に転換する企業が相次いでいる。しかしながら、「賃金構造基本統計調査」に代表される既存の賃金情報は、学歴や年齢、勤続年数といった属人的要素の調査を中心としており、職務や職責といった仕事内容そのものにリンクした情報とは一線を画している。現状では、一部の外資系企業を除いて職務・職責と賃金との関係を示す情報は入手が不可能な状況である。

そこで当機構では、職務・職責基準についてノウハウを有する中央青山プライスウォーターハウスコーパース HRS 株式会社との共同研究により、コンパクトな「役割」基準に基づいた賃金情報の整備・提供を目的として調査研究を実施した。本報告書は、2004 年度に実施された第 1 回アンケート調査の 1 次集計結果を取りまとめたものである。

2005 年 10 月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 小 野 旭

執筆担当者

氏名	所属
伊藤 実 <small>いとう みのる</small>	労働政策研究・研修機構統括研究員
堀 春彦 <small>ほり はるひこ</small>	労働政策研究・研修機構副主任研究員
勇上 和史 <small>ゆうがみ かずふみ</small>	労働政策研究・研修機構研究員
大谷 剛 <small>おおたに ごう</small>	労働政策研究・研修機構研究員

# 目 次

## まえがき

<b>I 調査の目的と結果の概要</b> .....	1
<b>第1章 調査の概要</b> .....	1
第1節 調査の目的 .....	1
第2節 調査対象および方法 .....	1
第3節 実施期間 .....	1
第4節 調査項目 .....	2
<b>第2章 回答企業の属性と仕事基準賃金の導入状況</b> .....	4
第1節 回答企業の基本属性 .....	4
1 回答企業の業種 .....	4
2 回答企業の従業員規模 .....	4
第2節 仕事基準の賃金制度の導入状況 .....	5
1 仕事基準の賃金制度導入の有無 .....	5
2 仕事基準賃金制度の導入時期 .....	7
3 今後の導入方針 .....	8
第3節 個人データの基本属性 .....	9
<b>第3章 賃金に関する調査結果</b> .....	15
第1節 所定内給与額 .....	15
1 企業属性別所定内給与 .....	15
2 年齢別所定内給与 .....	17
3 勤続年数別所定内給与 .....	21
4 階層別所定内給与 .....	25
5 「役割の大きさ」別所定内給与 .....	28
6 小括 .....	32
第2節 年間賞与 .....	32
1 企業属性別年間賞与 .....	32
2 年齢別年間賞与 .....	34
3 勤続年数別年間賞与 .....	38
4 階層別年間賞与 .....	42
5 「役割の大きさ」別年間賞与 .....	45

6	小括	48
第3節	年間給与	49
1	企業属性別年間給与	49
2	年齢別年間給与	51
3	勤続年数別年間給与	55
4	階層別年間給与	58
5	「役割の大きさ」別年間給与	62
6	小括	65
<b>II</b>	<b>調査票及び記入要領</b>	<b>66</b>
<b>III</b>	<b>付属統計資料</b>	<b>78</b>